

令和2年5月22日

保護者様

弓削商船高等専門学校

SSW 坂本 和夫

スクールソーシャルワーカーからのお知らせ

みなさん、こんにちは。社会福祉士の坂本と申します。私は平成30年度から毎週水曜日に、スクールソーシャルワーカー（SSWと略すこともあります）として弓削商船高等専門学校に来させていただいています。来たときは、学生のみなさんや先生方の熱心で一生懸命な姿に触れ、様々なことを学ばせていただいたり元気もらっています。現在の遠隔授業期間中は、学校で直接お会いしての相談はお受けしていませんが、ソーシャルワーカーって何？と知らない人も多いかと思い、少し紹介させていただきます。

ソーシャルワーカーとは、相談支援の専門職です。そして生活や社会福祉が専門ですので、貧困問題、疾病、介護のこと、認知症高齢者や障害児者（身体・知的・精神（発達障害含む））の生活、子ども・家庭のこと、学校問題、虐待・DV、薬物やアルコール等依存症、様々な権利侵害、など対する人の範囲は広く、及び、これらは生活課題を抱えた個人から、集団・組織、地域社会まで対象も多岐で、相談先もセンターとか事業所、施設や病院、民間・行政等多様で、そこにソーシャルワーカーがいて相談・対応しています。数年前からは小中学校へのSSWの配置も増えてきました。私は弓削商船高等専門学校に来させていただき今年で3年目になります。

さて、全国の高等学校では少し減少してきているとはいえ、小中学校では子どもたちが様々なことに直面していることは皆さまご承知されていることと思います。友人関係や教師との関係をめぐり問題、偏見を超えて差別・排除等の人権侵害、不安・無気力、学業不振、家庭状況の問題、不登校、などに止まらずあってはならないことですが、いじめ、暴力、非行・犯罪、性被害・犯罪被害、体罰、自殺など。

自分だけで、或いはご家族や友人の力を借りて、担任の先生の力をお借りして、直面した困難を子どもが自力で改善する場合もあろうかと思えます。しかし、自分の力や人間関係の協力だけでは克服できない時もあるかもしれません。SSWは、その人自身とその人が暮らしている環境の双方に焦点を当て、どうしたら困難な事態を緩和し、立て直しができるかを一緒に模索していくことができます。

また、SSWは何でも相談・総合相談と思っていますので、これちょっと気になるんだけど、これが知りたいんだけど、とかほんの些細と思われることから相談は何でもOKです。未然防止は勿論、早期発見、早期対応・支援が大事と思っていますので、もし気がかりなことがありましたらどうぞ気楽に話していただければと思っています。私は、まずはじっくり聴かせていただきます。

通常の授業が再開されたら受付を再開しますが、現在は、相談窓口の保健室を仲介してのお問い合わせにのみ対応しております。

みなさん、よろしく申し上げます。

<面談のご予約>

→まずは保健室/学生支援室にご連絡ください。 ☎0897-77-4621